



Alfa Romeo



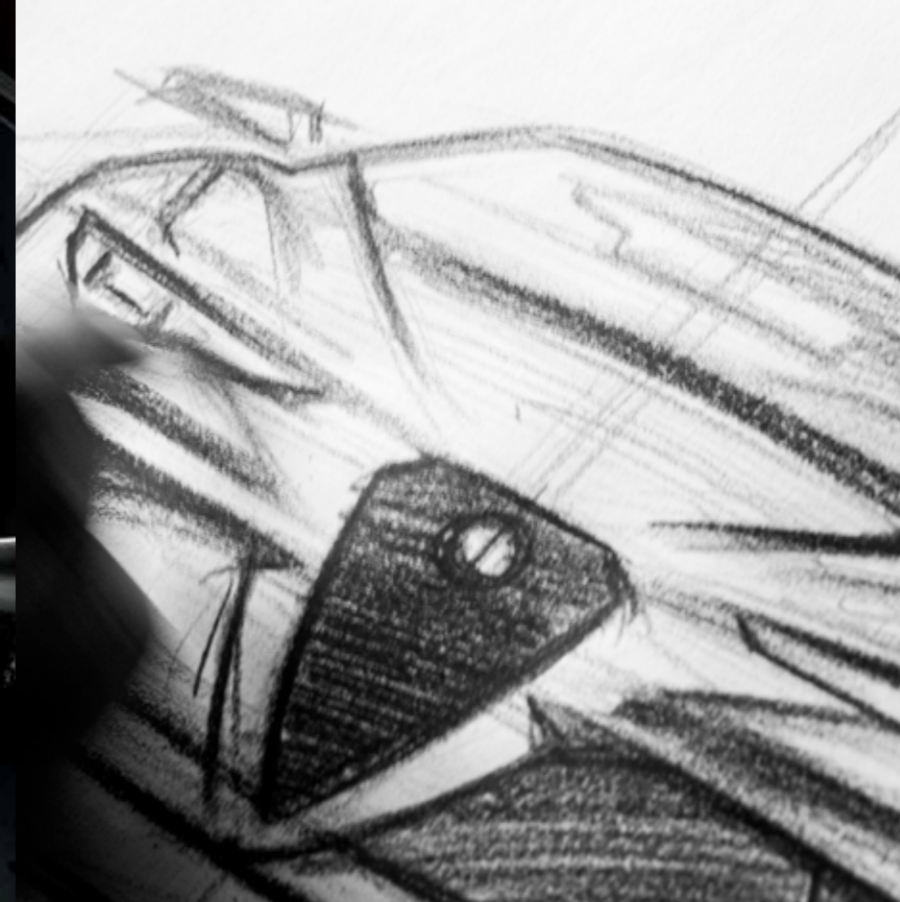
アルファ ロメオには、
人生すら変えてしまう力がある。

ある者はその美しさに魅了され、ある者はその走りがもたらす官能の虜となった。
そして、レースの世界では不滅の記録と記憶を残し、ライバルたちからの尊敬を集めた。
アルファ ロメオは、クルマが呼び覚ます感動を、110年以上にわたって追求してきた。
揺るぎないブランド哲学と、イタリアの熱き血が創造した気高きロマン。
乗るたびに蘇る興奮と胸騒ぎが、あなたの日常を劇的に変える。
永遠に変わることはない熱い走りと、最高の感動を。
アルファ ロメオは、あなたとひとつになり、醒めることのない情熱をたぎらせ続ける。



イタリアンデザインの真髄を 描きながら、至高のパフォーマンスを 生み出す“必然の美”

アルファ ロメオは、その独創性と美意識によって、カーデザイン史に革命をもたらした。
数々の美しく、官能的なフォルムは、人々を惹きつけ、忘れがたい記憶を残してきたのである。
アルファ ロメオのデザイン部門 Centro Stileは、こうした伝統と現代の文化を織り込みながら、
無限のイマジネーションとあふれる情熱を注ぎ込み、ジュリアとステルヴィオを創造した。
「彫刻的」と喩えられる、直線と曲線が織りなす造形美は、内からみなぎるエネルギーを描き出す。
そして同時に、これらすべては優れたパフォーマンスを最大限に引き出すための
「機能美」を生み出すためのものでもある。この哲学は、他では真似できない完全なオリジナル。
アルファ ロメオのデザインは、常にドライバーの想像力をかきたて、魂を震わせるのだ。



理想のパフォーマンスを実現するため、 挑戦し続けることが宿命であり、本能。

唸るエンジンサウンド、ほとぼしるような官能のフィーリング。

何度乗っても変わらない感動。この感覚は、他では味わえない唯一無二のものだ。

最高のドライビングエクスペリエンスを目指して、注ぎ込まれたイタリアの叡智。

革新的なエンジン、理想的な前後重量配分、独創的技術、優れたパワーウェイトレシオ。

これらのすべてを磨き抜いた結晶が、ジュリアとステルヴィオである。

高回転域までスムーズに回るエンジンの躍動。

コーナリングの快感を教えてくれる、鋭く、クイックなステアリングワーク。

ドライバーの五感にコミットし、心を熱く昂らせる。

アルファ ロメオが訴えかけるのは、単なる走りの魅力ではない。

それはいわば、根源的な衝動であり、興奮であり、歓びなのだ。

理想のグランドツーリングを追求した 新グレード『Ti』が登場

アルファ ロメオが歴代のスポーティモデルにその名を与えてきた
伝統のグレード「Ti(Turismo Internazionale)」が復活を果たした。
ジュリア Tiは、高回転域で伸びのあるフィーリングのガソリンエンジンを採用。
ステルヴィオ Tiは、豊かなトルクと息の長い加速が魅力のディーゼルエンジンを採用。
専用カラーのナチュラルレザーシートやウッドパネルにより構成された
優雅な室内空間は、上質で快適なドライブの時間を演出。
アルファ ロメオが求める理想のグランドツーリングを、ここに体現する。



Photo : GIULIA 2.0 TURBO TI

※欧州仕様車



Photo : STELVIO 2.2 TURBO DIESEL Q4 TI (上) GIULIA 2.0 TURBO TI (下) ※写真は一部日本仕様と異なる場合があります。

比類なき美しさと、情熱的なFRドライブの感動
 アルファ ロメオのフラッグシップスポーツサルーン

あらゆるディテールが調和し、官能の美を体現するイタリアンデザイン。
 アルファ ロメオ歴代の名車で用いたFR(フロントエンジン/後輪駆動)レイアウトを継承。
 ドライバーの心を昂らせる走りを実現する、アルファ ロメオのフラッグシップモデル。
 280PSのアグレッシブな走りを実現するスポーティグレード「ヴェローチェ」と
 落ち着きのある室内空間で、上質で快適なドライブを演出する「Ti」をご用意。



2.0 TURBO TI
 (ガソリンエンジンモデル)
 高出力200PS 最大トルク330Nm

2.0 TURBO VELOCE
 (ガソリンエンジンモデル)
 高出力280PS 最大トルク400Nm

詳しくは
 公式WEBサイトで



Photo : 2.0 TURBO VELOCE



美しさ、パフォーマンス、快適性、すべての魅力を備えた アルファ ロメオのスポーツSUV

ドライバーの所有する誇りを満たす、麗しきイタリアンデザイン。

SUVの常識をはるかに超えた、情熱的なパフォーマンス。

さらに快適性と利便性を極めた、アルファ ロメオにしか生み出せないスポーツSUV。

よりスポーティな走りを追求した「ヴェローチェ」(ガソリンエンジン/ディーゼルエンジン)と

数々の上質な装備が、快適な走りの時間を約束する「Ti」(ディーゼルエンジン)をご用意。



Photo : 2.0 TURBO Q4 VELOCE

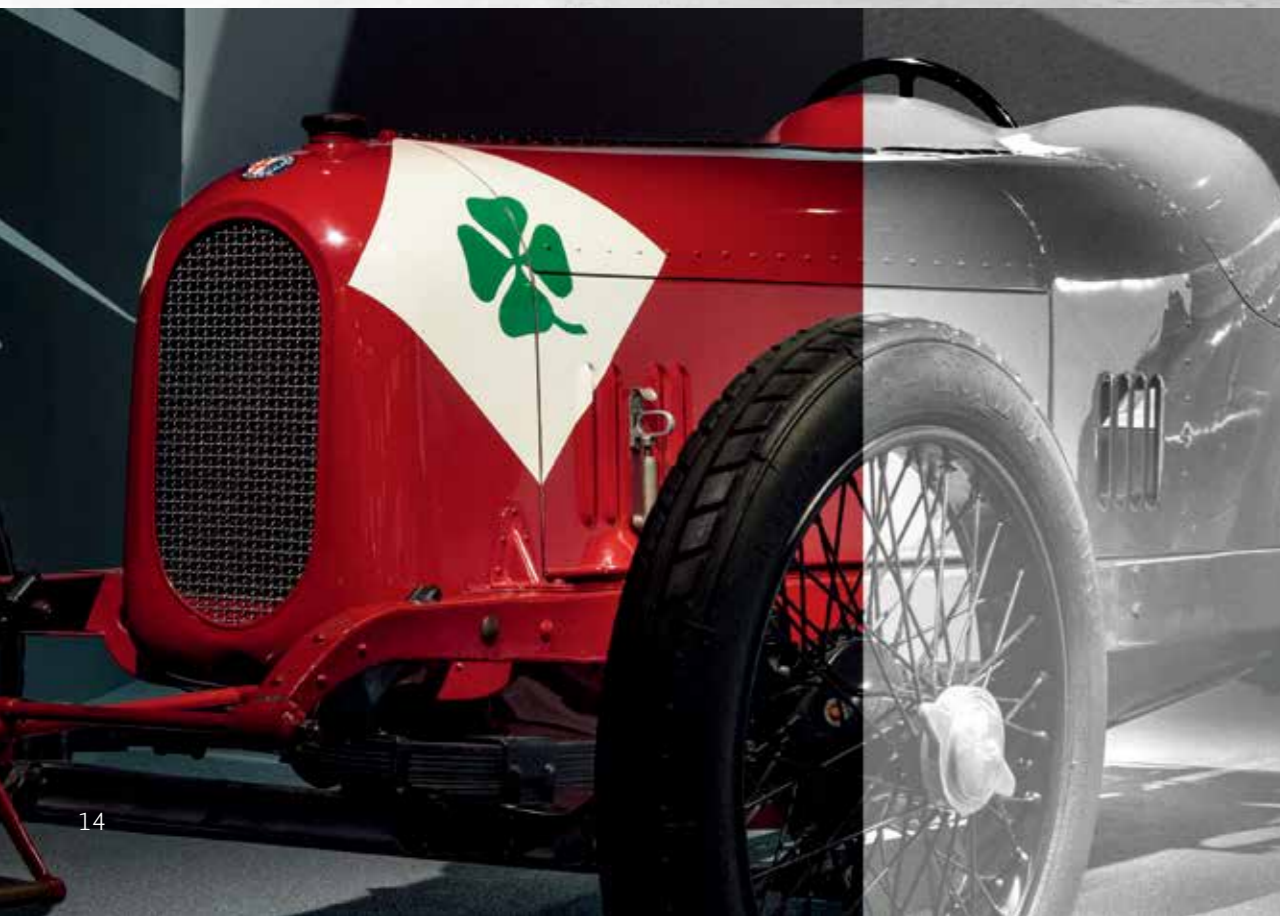
2.2 TURBO DIESEL Q4 TI
(ディーゼルエンジンモデル)
最高出力210PS 最大トルク470Nm

2.2 TURBO DIESEL Q4 VELOCE
(ディーゼルエンジンモデル)
最高出力210PS 最大トルク470Nm

2.0 TURBO Q4 VELOCE
(ガソリンエンジンモデル)
最高出力280PS 最大トルク400Nm



Photo : STELVIO 2.2 TURBO DIESEL Q4 TI ※写真は一部日本仕様と異なる場合があります。



FROM PAST TO FAST

「幸運のお守り」として始まった四つ葉のクローバー(クアドリフォリオ)は、今ではアルファ ロメオとそのドライバーたちの最速記録や数々の勝利といった壮大な物語の象徴となっている。四角い白地の上に、緑の四つ葉のクローバー。このシンボルを最初に用いたのは、アルファ ロメオのベテランドライバーであるウーゴ・シヴォッチだ。1923年、彼はシチリアの峠を駆け抜ける伝統的なレース、タルガ・フロリオに向け、“サーキットの万年二番手”といわれていた状況を打破したい一心で、自らのマシン、アルファ ロメオ RLのノーズにこのシンボルを描いた。そして1位でフィニッシュ。幸運の女神は彼に微笑んだのだ。しかしその数か月後、シヴォッチはこのシンボルが描かれていないニューマシンに搭乗し、テスト走行中に悲惨な事故を起こして落命。この悲劇がきっかけとなり、以後すべてのレーシングカーには三角形の白地に緑の四つ葉のクローバーが描かれることとなった。白地の四角の一辺がなくなり三角になったのは、シヴォッチを失ったことを意味している。現在、四つ葉のクローバーのエンブレムはレース向けのパフォーマンスグレードを表すようになったが、もちろんそこには幸運の意も込められている。

唸るV6エンジンが誘う、官能の極致
アルファ ロメオ最強のハイパフォーマンスモデル

最先端のテクノロジーと、伝統のデザイン哲学により描き出された流麗な造形美。
革新的なV6エンジンとエンジニアリングが導く、強烈無比なパフォーマンス。
アルファ ロメオ最強のマシンは、魂を震わせ、あなたを官能の極地へと誘う。

詳しくは
公式WEBサイトで



聖地 ニュルブルクリンクを制覇

革新的構造のオールアルミ製V6 ツインターボエンジンを搭載。唸るエキゾーストサウンドとともに驚くほどの高効率で比類なきパワーを発揮。スポーツカーの聖地ドイツ・ニュルブルクリンク北コースでは、当時の量産4ドアセダン世界最速となるラップタイム(7分32秒)*2を記録し、その実力を世界に知らしめた。

*2 2016年9月時点の記録

510 PS
最高出力

600 Nm
最大トルク

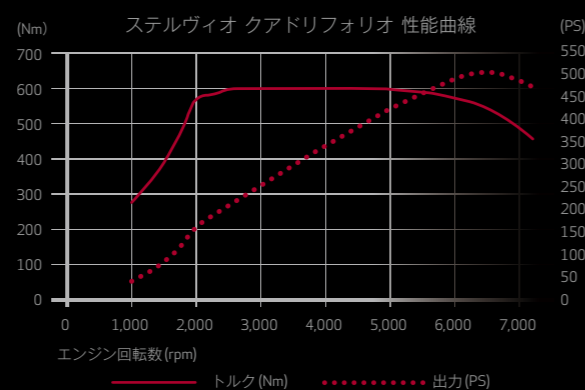
307 km/h*1
最高速度

3.9 sec*1
0-100km/h 加速

*1 欧州参考値

異次元のパフォーマンスを体現する アルファ ロメオのモンスターSUV

圧倒的な迫力と機能美を描き出すエクステリアとインテリアのデザイン。
革新的なV6エンジンや電子デバイスなどのテクノロジーが実現した驚愕の走り。
アルファ ロメオのモンスターSUVは、異次元の走りへとあなたを誘う。



クアドリフォリオの走りを生む革新的テクノロジー

エンジン、ボディ、サスペンションはアルミニウム製。ドライブシャフトやボンネット、ルーフなどはカーボンファイバー製と、超軽量素材を惜しみなく採用。
また、すべての車載システムの情報をリアルタイムで取得し、統合制御するALFA™ シャシードメインコントロールなど、クアドリフォリオ専用の電子デバイスを採用。瞬時にデータをパワフルなパフォーマンスに変換する。



510 PS
最高出力

600 Nm
最大トルク

283 km/h*
最高速度

3.8 sec*
0-100km/h 加速

*欧州参考値

先進のドライバーアシスト

人間の五感にコミットし、感情に訴えかけるアルファ ロメオ独自のブランド哲学。これをさらに磨き抜いた結果採用したのが、先進のドライバーアシストである。ジュリア、ステルヴィオともに、ドライバーは運転に集中することができ、さらなる安心感に守られながら、心昂ぶるドライブを楽しむことができるのだ。

左右後方の死角を継続的に監視



前方の車両と適切な車間距離を維持



交通標識を読み取り制限速度などを警告



正面衝突の可能性を警告



※ドライバーアシストについての詳細は、アルファ ロメオ公式サイトをご覧ください。
※写真はイメージです。※ドライバーアシストは、あくまでドライバーの運転支援を目的とした機能です。各機能は、いずれも周囲の交通状況、路面の状態、天候、車両の状態など、条件によっては作動しない場合、または性能を十分に発揮できない場合があることをあらかじめご了承ください。また、搭載されている各機能の認識能力および制御能力には限界があります。各機能の能力を過信および頼った運転はせずに、運転中は常に周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いいたします。ドライバーアシストをご使用になる際には、必ず取扱説明書を事前にお読みください。



世紀を超えて、輝き続ける栄光の紋章

世界の自動車ブランドの中でも、屈指の歴史を誇るアルファ ロメオ。

1910年6月24日、ミラノ北部郊外にA.L.F.A. (Anonima Lombarda Fabbrica Automobili) が創設。

1915年には、起業家ニコラ・ロメオを経営者に迎え、アルファ ロメオと改名した。

創設時から続く伝統のエンブレムは、栄光の歴史を見守り続けてきた気高き魂の象徴である。

ブランドの礎を築いた名エンジニア、ジュゼッペ・メロージらが手がけた

そのデザインモチーフは、アルファ ロメオ発祥の地であるミラノ市の「十字架の紋章」と、

かつてミラノを統治した貴族、ヴィスコンティ家の「大蛇の紋章」を組み合わせたものである。



ニコラ・ロメオ



スフォルツェスコ城の正門・フィラレーテの塔に描かれた「ビシオーネ」





アルファ ロメオに宿る、熱きレーシングスピリット

アルファ ロメオを語る上で、レースにおける戦いの歴史は、最も重要な要素の1つである。ミッレミリア、ル・マン、F1、ラリー、ツーリングカーレースなど、世界中で行われた数々の重要なレースで、数えきれないほどの勝利を飾ってきた。こうしたレーシングカーのテクノロジーを、市販車に投入し続けてきた挑戦的な姿勢やレーシングスピリットは、今もなお、アルファ ロメオが掲げる哲学の根幹をなすものである。



1910 - A.L.F.A.24HP



1930 - 6C 1750 Gran Sport



1951 - Gran Premio Tipo 159 "Alfetta"



1965 - Giulia Sprint GTA



1967 - Tipo 33/2 Stradale



1980 - Alfetta GTV 6 2.5i



2002 - Alfa 156 GTA



2015 - Giulia Quadrifoglio

終わりになき挑戦

勝利への執念と革新技术によって追求した、極限の走り。

歴史に名を残すマシンと、偉大なるレーシングドライバー達が輝かしい勝利をもたらし、
数々の伝説を残してきたアルファ ロメオは、2018年からF1の世界にカムバックを果たした。

最新鋭のテクノロジーが投入され、1000分の1秒を競う熾烈な戦い。

そんな現代のF1においても、揺らぐことのない本質がある。

速さへの欲望が生んだ、狂おしいほどの熱い情熱。人はそれをレーシングスピリットと呼ぶ。

アルファ ロメオの挑戦は、終わらない。





www.alfaromeo-jp.com

Alfa Contact
0120-779-159

9:00AM~9:00PM(土・日・祝日も承ります)

※本冊子の掲載内容は、2022年4月現在のものです。※本冊子の掲載内容は、車両在庫を保証するものではありません。冊子に車両の掲載があっても販売を終了している場合もございます。車両取扱いについては、お近くのショールームにお問い合わせください。※本冊子に掲載されている仕様および諸元は、予告なく変更する場合があります。※写真・イラストはイメージであり、実際の商品とは細部で異なる場合があります。※ボディカラー・内装色は、お客様がご覧になる条件により、実際と異なって見えることがありますのであらかじめご了承ください。